

# 砂防だより



春の彩（富士市岩本山）

新年度のご挨拶	2
砂防室職員の紹介	
土砂災害防止月間	3
平成21年度の行事予定	
平成21年度砂防関係当初予算	4
あなたのまちの安全度	6
警戒避難体制整備の取り組み	8
土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文 優秀作品の表彰	10
直轄事業の紹介	13
インフォメーション	14
土木事務所企画担当者の紹介	16

## 速報 平成21年度 砂防関係当初予算

## 特集 あなたのまちの安全度

土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文  
優秀作品の表彰



全国治水砂防協会静岡県支部

# 新年のご挨拶

陽春の候、会員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

4月1日付けで静岡県建設部河川砂防局技監を拝命した鈴木です。このたび、全国治水砂防協会静岡県支部常任幹事に就任しましたので、よろしくお願いいたします。

静岡県は、県土の7割を山地が占め、脆くて崩壊しやすい地質が全域に分布し、県民の約9%に当たる33万人が15,193箇所土砂災害危険箇所に住んでいます。昨年は、幸いにして、台風の上陸などもなく、例年50件程度発生している土砂災害も17件にとどまり、人的被害はありませんでした。しかしながら、近年、ゲリラ豪雨など、集中豪雨の頻発化傾向が見られ、今後が懸念される所です。

このような状況に対応するため、本県では、「土砂災害による死者ゼロの実現」「安心・安全日本一」を目指し、土砂災害防止施設の整備とともに、住民の早期避難を促進する取り組みなどを進めています。このため、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域の指定に加え、大雨時に土砂災害の危険性が高まった地域や時期をお知らせする「土砂災害警戒情報」を補足する詳細情報をインターネット公開しています。

いずれの施策も、会員の皆様との協調の上で初めて成果を見るものでありますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

全国治水砂防協会静岡県支部常任幹事  
静岡県建設部河川砂防局技監 **鈴木 義勝**

## 砂防室職員の紹介

TEL 054-221-  
FAX 054-221-3564

### 河川砂防局技監

**鈴木**

☎3040

### 砂防室長

**加納**

☎3382

### 傾斜地保全係

#### 傾斜地保全係長

**齋藤**

● 傾斜地保全係の総括

### 土砂災害対策スタッフ

マイク口  
340

#### 主査

**佐野**

● 土砂災害防止法  
● 砂防指定地等の管理(技術)

#### 主幹

**八木**

● スタッフの総括

#### 副主任

**渥美**

● 情報基盤整備事業  
● 砂防指定地・地すべり区域の指定

#### 主査

**大野(正)**

● 避難体制整備促進  
● 相互通報システム整備  
● 急傾斜地の指定

#### 砂防協会

**小塩**

● 砂防協会関係の事務・経理

#### 技師

**中田**

● 土砂災害防止月間等  
● 土砂災害防止講習会

☎土砂災害110番

### 砂防係

マイク口  
341

☎3043

#### 砂防係長

**杉本**

● 砂防係の総括  
● 直轄砂防事業の調整

#### 主任

**下村**

● 補助砂防事業  
● 災関砂防事業

☎土砂災害110番

#### 副主任

**諸橋**

● 県単砂防事業  
● 演習場周辺地区障害防止事業

#### 主任

**渡邊**

● 地すべり事業(農地)  
● 地すべり事業(国交省)

☎土砂災害110番

#### 主任

**早川**

● 補助急傾斜地事業  
● 災関急傾斜地事業

☎3044

#### 主任

**大野(文)**

● 地すべり事業(森林)  
● 県単急傾斜地事業  
● 災関地すべり対策事業

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等については、河川砂防管理室 ☎3028 (室長)山田 <管理担当> ☎3034 (主幹兼河川砂防管理係長)増田 (主任)佐野「河川砂防管理室」で担当します。

# 土砂災害防止月間 がけ崩れ防災週間

6月1日 ▶ 30日

6月1日 ▶ 7日

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、主に雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く、土砂災害が発生しやすい時期です。近年は異常な集中豪雨による被害が増えていますので、雨が降りだしたら気象情報などに注意しましょう。

毎年、6月を土砂災害防止月間として、土砂災害防止について県民の皆様が理解し関心を深めていただくため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災パトロール、啓発チラシの配布、講習会を実施します。



2008砂防土砂災害防止説明会



急傾斜地パトロール

## 行事予定

- |    |           |  |
|----|-----------|--|
| 6月 | 1日        | 土砂災害に対する全国統一防災訓練                       |
|    | 2日        | 土砂災害防止推進の集い(山梨県甲府市)                    |
|    | 1~30日     | 急傾斜地パトロール(重点実施)                        |
|    | 中旬        | 砂防フェスタ(土砂災害防止説明会)の開催<br>(静岡市青葉シンボルロード) |
|    | 6/1~9/15日 | 土砂災害防止に関する作品募集                         |

土砂災害防止PRのため、会員の皆様に

- 懸垂幕または横断幕
  - マグネットシート(車貼付け用)
  - ティッシュボックス
- を送付します。ご活用ください。

## ▶▶平成21年度の行事予定◀◀

月日	時刻	活動	会場等
4月 22日(水)	11:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡市内
5月 20日(水)	11:00	(社)全国治水砂防協会平成21年度通常総会	砂防会館(東京都)
	25日(月)	13:30 全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡市内
	25日(月)	15:00 全国治水砂防協会静岡県支部平成21年度通常総会	静岡市内
6月 7日(日)		土砂災害に対する全国統一防災訓練	34市町
	1~30日	土砂災害防止月間	静岡県内各地
	1~7日	がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
6月 6日(土)		砂防フェスタ(土砂災害防止説明会)の開催	静岡市(青葉シンボルロード)
8月 下旬		市町長等砂防事業県外視察	未定
10月 14日(水)		砂防担当者のための土砂災害防止の実務講習会	砂防会館(東京都)
11月 上旬		市町等砂防担当職員研修	未定
	中旬	東海4県協会支部長・砂防課長合同会議	愛知県(予定)
	中旬	東海地区直轄事務所長・砂防課長会議	三重県(予定)
	17日(火)	11:00 全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
	17日(火)	13:00 静岡県選出国會議員への要望	議員会館等(東京都)
3月 中旬		砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※ 太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

速報

平成21年度

当初予算

砂防関係  
予算

99億5,484万円余

平成21年度当初予算が平成21年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆1,318億円で、前年度に比べ20億円の増、対前年度比100.2%でした。

砂防関係事業の予算総額は99億5,484万円で、前年度より約4億6,081万円の増、対前年度比104.9%となりました。主な内訳は次のとおりです。

1 国庫補助事業

66億9,700万円 (前年度当初比99.5%)

国の補助を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

2 県単独事業

21億円

(前年度当初比127.3%)

国庫補助事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、緊急豪雨対策、緊急輸送路関連土砂災害対策等を実施します。

3 国直轄事業費負担金

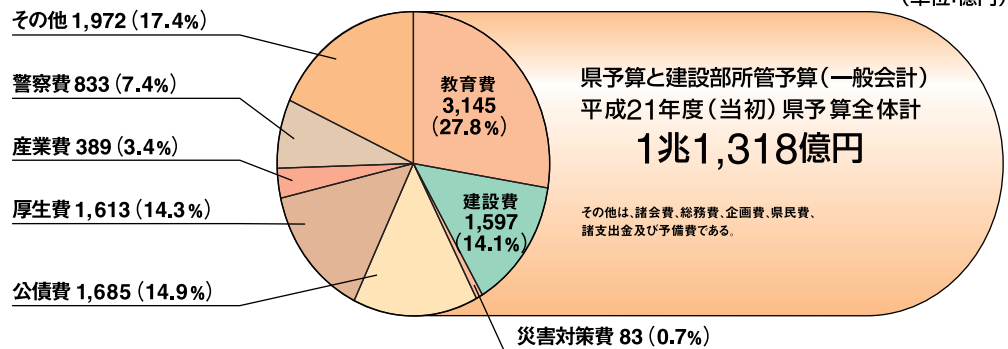
11億1,100万円 (前年度当初比100.0%)

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び、由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

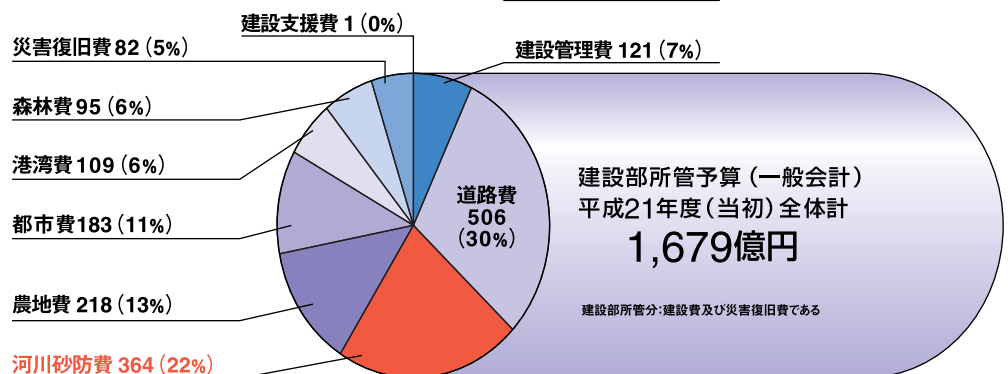
静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

● 県予算と建設部予算 (平成21年度当初)



● 建設部所管予算 (平成21年度当初)

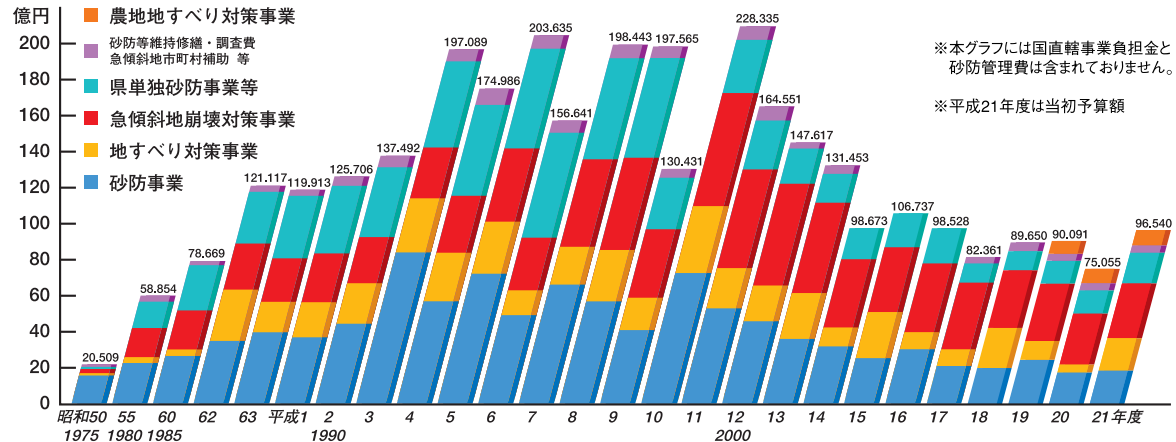


(単位:千円、%)

平成21年度 砂防関係事業等予算額調書

Table with columns: 事業名, 平成21年度 当初 A, 平成20年度 当初 B, 平成20年度 最終 C, A/B, A/C. Rows include categories like 砂防管理費, 河川改良費, 砂防, 地すべり, 急傾斜地対策, 砂防関係, 災害関連緊急事業, 再集計, 県単独事業, 砂防費, 国庫補助, 農林地すべり対策, 河川砂防費.

砂防関係事業費の推移



※本グラフには国直轄事業負担金と砂防管理費は含まれておりません。
※平成21年度は当初予算額

# あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く、地形が急峻で、脆い地質が全県に分布し、15,193箇所もの土砂災害危険箇所があります。

県では、土砂災害から県民の生命・身体を守るため、砂防えん堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備（ハード対策）とともに、住民への危険箇所の周知（ハザードマップの配布、危険箇所表示板の設置）、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソフト対策を実施しています。

## 市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

（平成21年3月31日現在）

所管 土木	市町村名	土砂災害危険箇所数				土砂災害警戒区域指定状況				危険箇所 マップ 作成状況	危険箇所 表示板 設置数	情報機器の整備	
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計			機器の種類	設置年度
下田	下田市	235		311	546	75		97	172	H16	238	CATV、メール	H14
	東伊豆町	23	6	56	85					H16	57		
	河津町	92	5	112	209					H16	110	CATV、有線電話、メール	H14
	南伊豆町	252	1	245	498			18	18	H16	215	メール	H14
	松崎町	92	1	128	221					(H8) H18	144	CTI、同報無線、メール	H16
	西伊豆町	86	1	116	203					(H8) H18	136	CTI、電話応答、メール	H19
	小計	780	14	968	1,762	75		115	190		900		
熱海	熱海市	98	1	167	266	13		56	69	H16	202	CTI、同報無線	H16
	伊東市	105	2	216	323	17		34	51	H14	169	CATV	H15
	小計	203	3	383	589	30		90	120		371		
沼津	沼津市	116		169	285	48		98	146	H15	180	同報無線	H15
	三島市	23		82	105			30	30	H15	55	CTI、同報無線、電話応答、メール	H17
	御殿場市	30		7	37					H13	17		
	裾野市	44		38	82				5	H16	54		
	伊豆市	480	8	371	859			34	34	H15	627	CTI、電話応答、メール	H18
	伊豆の国市	103	1	198	302	20		58	78	H15	135	同報無線、電話応答	H15(旧大仁)
	函南町	32	1	74	107	2		9	11	H14	46		
	清水町	2		16	18	2		5	7	H15	7		
	長泉町	2		29	31			3	3	H15	13		
	小山町	47		61	108	19		28	47	H16	71	同報無線戸別受信機	他費
小計	879	10	1,045	1,934	91		270	361		1,205			
富士	富士宮市	40		111	151	8		6	14	H15	57	同報無線、電話応答	H16
	富士市	57	1	168	226			3	3	H13	84	コミュニティFM送信	H17
	芝川町	67	1	164	232	18		33	51	H13	129	CTI、メール	H20
	小計	164	2	443	609	26		42	68		270		
静岡	静岡市	919	11	1,783	2,713	128		188	316	H9~19	1,366	CTI	H18
	小計	919	11	1,783	2,713	128		188	316		1,366		
島田	島田市	198	26	493	717	17		43	60	H13~16	379	インターネット	H14
	焼津市	24	1	48	73			13	13	H14	57		
	藤枝市	205	27	446	678	17		80	97	H13	325	藤枝:CTI 岡部:同報無線	H14
	川根本町	42		143	185	3		24	27	H13	184	同報無線	H19
	牧之原市	44	2	320	366	5		43	48	H15~16	66	同報無線戸別受信機	他費
	吉田町			6	6					H16	2		
小計	513	56	1,456	2,025	42		203	245		1,013			
袋井	御前崎市	12		324	336	1		32	33	H16	26	同報無線戸別受信機	他費
	磐田市	66		211	277			2	2	H15	44	CTI、メール	H19
	掛川市	134	11	881	1,026	58		264	322	H15	149	同報無線、電話応答、メール	H15, H16
	袋井市	32		220	252			7	7	H15	45	CTI	H16
	菊川市	44		423	467	16		58	74	H16	98	CTI、メール	H16
	森町	59	5	364	428			3	3	H13	54	同報無線、電話応答	H15
小計	347	16	2,423	2,786	75		366	441		416			
浜松	天竜区	292	66	898	1,256	150		377	527	H9~18	567	CTI、同報無線	H13~H15
	天竜区以外	148	5	1,183	1,336	24		177	201	H13~16	278	同報無線、電話応答	H15(旧引佐)
	浜松市計	440	71	2,081	2,592	174		554	728		845		
	湖西市	2		151	153					H15	34	防災機器整備済み	他費
	新居町			30	30			6	6	H16	16		
小計	442	71	2,262	2,775	174		560	734		895			
合計		4,247	183	10,763	15,193	641		1,834	2,475		6,436		

■CTI：予め登録された住民の方々へ自動的に電話連絡するシステム



静岡県の土砂災害情報は、  
<http://sabougis.pref.shizuoka.jp/>  
 でご覧になれます。

に、「土砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指  
 フト対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

## 市町別ハード対策（土砂災害防止施設の整備）の実施状況

（平成21年3月31日現在）

所管 土木	市町村名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		要対策 溪流数	概 成 溪流数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	16	17.0				164	26	15.9	258	42	16.3
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	7	18.4	60	16	26.7
	河津町	53	13	24.5	5	2	40.0	44	13	29.5	102	28	27.5
	南伊豆町	119	10	8.4	1	1	100.0	131	36	27.5	251	47	18.7
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	20	26.0	149	28	18.8
	西伊豆町	64	16	25.0	1			67	18	26.9	132	34	25.8
	小 計	417	70	16.8	14	5	35.7	521	120	23.0	952	195	20.5
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	12	12.6	187	29	15.5
	伊東市	82	21	25.6	2	1	50.0	110	24	21.8	194	46	23.7
	小 計	173	38	22.0	3	1	33.3	205	36	17.6	381	75	19.7
沼津	沼津市	96	20	20.8				128	68	53.1	224	88	39.3
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	5	62.5				3			11	5	45.5
	裾野市	23	8	34.8				24	6	25.0	47	14	29.8
	伊豆市	328	54	16.5	8	1	12.5	148	32	21.6	484	87	18.0
	伊豆の国市	74	2	2.7	1			82	27	32.9	157	29	18.5
	函南町	14	3	21.4	1			32	6	18.8	47	9	19.1
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	1	5.6	19	1	5.3
	小山町	35	9	25.7				37	18	48.6	72	27	37.5
小 計	596	104	17.4	10	1	10.0	522	175	33.5	1,128	280	24.8	
富士	富士宮市	34	6	17.6				33	11	33.3	67	17	25.4
	富士市	48	16	33.3	1	1	100.0	55	29	52.7	104	46	44.2
	芝川町	32	8	25.0	1			48	9	18.8	81	17	21.0
	小 計	114	30	26.3	2	1	50.0	136	49	36.0	252	80	31.7
静岡	静岡市	540	114	21.1	11	3	27.3	654	276	42.2	1,205	393	32.6
	小 計	540	114	21.1	11	3	27.3	654	276	42.2	1,205	393	32.6
島田	島田市	83	16	19.3	26	6	23.1	132	63	47.7	241	85	35.3
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	20	80.0	39	28	71.8
	藤枝市	69	25	36.2	27	6	22.2	117	56	47.9	213	87	40.8
	川根本町	23	4	17.4				33	9	27.3	56	13	23.2
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	150.0	57	20	35.1	72	34	47.2
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
小 計	201	63	31.3	56	16	28.6	367	170	46.3	624	249	39.9	
袋井	御前崎市	1						33	17	51.5	34	17	50.0
	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
	掛川市	39			11	6	54.5	102	20	19.6	152	26	17.1
	袋井市	7						30	9	30.0	37	9	24.3
	菊川市	9	2	22.2		1		84	29	34.5	93	32	34.4
	森町	23	5	21.7	5	2	40.0	26	3	11.5	54	10	18.5
小 計	99	8	8.1	16	9	56.3	308	81	26.3	423	98	23.2	
浜松	天竜区	128	45	35.2	66	19	28.8	306	63	20.6	500	127	25.4
	天竜区以外	43	9	20.9	5	3	60.0	281	61	21.7	329	73	22.2
	浜松市計	171	54	31.6	71	22	31.0	587	124	21.1	829	200	24.1
	湖西市							38	5	13.2	38	5	13.2
	新居町							16	4	25.0	16	4	25.0
小 計	171	54	31.6	71	22	31.0	641	133	20.7	883	209	23.7	
合 計		2,311	481	20.8	183	58	31.7	3,354	1,040	31.0	5,848	1,579	27.0

## 土砂災害に対する

# 警戒避難体制整備促進の取り組み

## 1 土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害から人命を守るため、警戒避難体制の整備が促進されるよう、県では土砂災害警戒区域の指定（土砂災害のおそれがある区域の明示）を行っています。平成20年度は1,037区域を指定し、累計で2,475区域となっています（P6「あなたのまちの安全度」参照）。区域指定されたときは、市町村地域防災計画で区域ごとに警戒避難体制の整備を進め、ハザードマップの作成・配布をお願いいたします。

また、土砂災害特別警戒区域（建物に損壊が生じ人命に著しい危害が生ずるおそれがある土地の区域）では、災害時要援護者関連施設等の建築を行う場合の開発行為が許可制となり住宅建築物等の構造規制等が図られます。

なお、区域指定の図書は、砂防室・関係土木事務所・関係市町で縦覧するほか、砂防室ホームページでお知らせしています。

土砂災害警戒区域等の指定と対応状況

（平成20年3月31日現在）

市町名	警戒区域	特別警戒区域	ハザードマップ配布	市町名	警戒区域	特別警戒区域	ハザードマップ配布
下田市	172	123	6	芝川町	51	41	
南伊豆町	18			静岡市	316	242	
熱海市	69	65		島田市	60		
伊東市	51	44		焼津市	13		
沼津市	146	117		藤枝市	97	94	37
三島市	30	29	20	川根本町	27		
裾野市	5			御前崎市	33	33	9
伊豆市	34			牧之原市	48	45	
伊豆の国市	78	46		磐田市	2		2
函南町	11	9		掛川市	322	297	44
清水町	7	5		袋井市	7		
長泉町	3			菊川市	74	44	
小山町	47	27		森町	3		
富士宮市	14	11		浜松市	728	213	
富士市	3	3		新居町	6	3	
				30市町 計	2,475	1,491	118

## 2 全国統一土砂災害防災訓練の実施

「土砂災害に対する防災訓練」を**6月7日（日）に全国一斉で実施**します。この訓練は、台風等により土砂災害が発生した場合に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的に、県内34市町において実施します（昨年度は本県の29市町において地元地区住民や行政関係者など2017人が訓練に参加）。訓練は、土砂災害警戒情報の発表後に住民が避難所まで避難するなど、土砂災害に対する実践的な訓練を主体に構成されています。

## 3 土砂災害防止講習会等の実施

静岡県では、県民への土砂災害防止に関する知識の普及のため、土砂災害講習会や小中学校への出前講座などを行っています。また、土砂災害講習会の受講者の中から土砂災害危険箇所のある地区の受講者を「防災連絡員」として登録し、平常時の監視体制の強化や警戒避難体制の支援を図っています。

**県職員が説明に伺いますので、市町で実施している防災講座等に積極的に御活用ください。**

平成20年度 土砂災害防止講習会 開催実績

開催日	市町	人数	開催日	市町	人数
4月18日	浜松市	40人	6月1日	浜松市	171人
5月27日	島田市	80人	6月1日	藤枝市	63人
5月28日	島田市	42人	6月8日	森町	40人
5月29日	島田市	21人	6月12日	静岡市	42人
6月1日	下田市	29人	6月23日	御前崎市	57人
6月1日	西伊豆町	50人	7月8日	菊川市	24人
6月1日	静岡市	61人	8月8日	御前崎市	114人
6月1日	岡部町	104人	9月7日	富士宮市	98人
6月1日	袋井市	69人	3月6日	富士市	98人
6月1日	磐田町	47人	計	19市町	1,250人

平成20年度 土砂災害出前講座 開催実績

開催日	市町	学校名	対象者	人数
10月10日	函南町	丹那小学校	小学校3・4年生	33人
11月13日	富士宮市	山宮小学校	小学校4～6年生	90人
3月6日	浜松市	龍山第一小学校	小学校3～6年生	22人
計	3市町	3小学校	—	145人

※3月6日富士市「第16回地域防災指導者養成講座カリキュラム」は全11科目のうちの1科目



## 4 活用してください!! 「土砂災害警戒情報」で「早めの避難」

静岡県では、平成19年6月15日から「土砂災害警戒情報」の発表の運用を開始しました。運用開始以降、平成20年末までに8回の大雨で延べ54市町55地区に土砂災害警戒情報を発表しました。

### 土砂災害警戒情報 発表状況

年	発表日時	発表地区
H19	7月11日(1時20分)～11日(7時20分) (梅雨前線豪雨)	下田市、南伊豆町、伊豆市 (3市町3地区)
	7月14日(23時55分)～15日(12時20分) (台風4号)	河津町、沼津市、伊豆市、富士市、芝川町、静岡市北部、静岡市南部、富士川町、由比町、島田市、藤枝市、川根町、川根本町、掛川市、森町、浜松市北部 (15市町16地区)
	9月6日(15時50分)～7日(12時35分) (台風9号)	東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、熱海市、沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、小山町、静岡市北部 (14市町14地区)
		32市町33地区
H20	6月23日(12時13分)～23日(15時15分) (梅雨前線豪雨)	浜松市北部 (1市町1地区)
	6月29日(16時20分)～29日(18時45分) (梅雨前線豪雨)	下田市、河津町、松崎町、西伊豆町、東伊豆町 (5市町5地区)
	7月4日(5時22分)～4日(9時35分) (梅雨前線豪雨)	静岡市南部、由比町、富士川町、富士市、長泉町、裾野市、沼津市 (7市町7地区)
	8月30日(3時35分)～30日(5時25分) (低気圧)	伊豆市、西伊豆町、松崎町、南伊豆町 (4市町4地区)
	9月20日(0時20分)～20日(3時40分) (台風13号)	下田市、東伊豆町、河津町、伊東市、伊豆市 (5市町5地区)
		22市町22地区
合計		54市町55地区

## ●土砂災害警戒情報とは？

土砂災害警戒情報は、大雨警報が発表され、さらに土砂災害発生の危険性が高まったときに、市町単位で発表されます。土砂災害警戒情報が発表されると、市町長は避難勧告等の発令の検討を行います。また、住民の自主避難の参考となります。

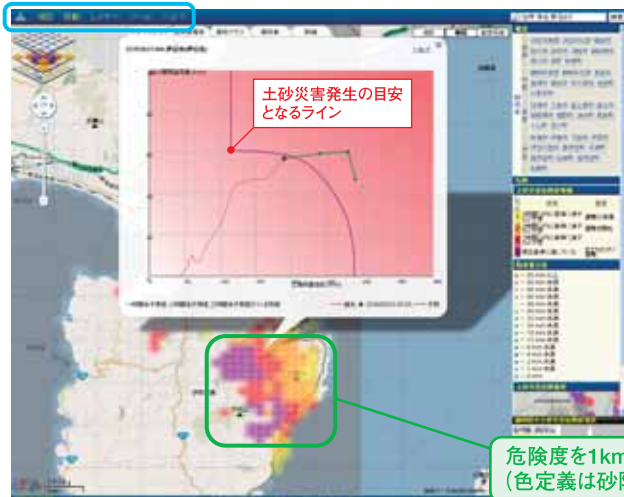
## ●どこがどのように危険なの？

土砂災害警戒情報は市町単位で発表されます。このため、市町のどこが危険な状態なのか、より詳細で即時性のある情報を提供するため、県では平成20年6月より気象庁から送られる全データを、わかりやすい形でインターネットで公開することとしました。

### ※補足情報配信サイト (<http://sabo-keikai.pref.shizuoka.jp/>)

本サイトの使い方・イメージは、『メニュー⇒ヘルプ⇒訓練モード・マニュアル』で確認できます。

メニュー



危険度を1km四方ごとに色別で表示  
(色定義は砂防だよりNO.162参照)



※画面はブラウザFirefox3.0での表示例です

平成20年度

# 「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」 優秀作品の表彰

平成20年度に、土砂災害防止月間の一環である「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」を募集したところ、静岡県内では82点の応募がありました。国の中央審査と県の地方審査の結果、8作品が入賞しました。3月26日県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、静岡県建設部長より入賞された皆さんに表彰状が授与されました。

## ■栄えある受賞者のみなさん

賞	部門	学校名	学年	氏名
国土交通省 砂防部長賞	絵画	磐田市立福田中学校	3年	寺田 雅俊
	ポスター	浜松市立気賀小学校	5年	手塚 博貴
	ポスター	浜松市立気賀小学校	5年	彦坂 聖流
	作文	浜松市立気賀小学校	4年	山下 美樹
	作文	静岡市立玉川中学校	3年	和田亜希穂
静岡県知事賞	ポスター	富士市立元吉原中学校	2年	望月 花菜
静岡県建設部長賞	ポスター	富士市立岩松中学校	3年	山本 茜
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	作文	静岡市立長田西中学校	1年	鈴木 彩花

※学校・学年は応募当時のものです。



## 作文の部

### ●国土交通省砂防部長賞 『調べるこって気持ちいい』 浜松市立気賀小学校4年 山下美樹さん

「今年は、きょく地てきに雨がふるから、大きな土砂災害が起きなければいいねえ。」

とテレビを見ていた母とおばあちゃんが話をしているのを聞いて、「土砂災害って、どんなことなんだろうか。」わたしは、土砂災害ってどんなことなのか知りませんでした。

そばにいた母に聞いてみることにしました。すると、母は、「今年は、きょく地てきに雨がふったから、テレビのニュースでも土砂災害のことがいくつか映っていたねえ。」

「お母さん。きょく地てきて、どういうことなの。」  
「うーん。きょく地てきて言うのはね。同じ所に集中して雨がふるって言うことかね。」

「じゃ。土砂災害って。」  
「土砂災害って言うのはね。たくさん雨がふると水がたくさん出て、山がくずれてくる自然の災害のことだよ。山の大きな木や大きな石が土や砂といっしょにすごいきおいで流れてくるから、家がおし流されてしまったり、家がつぶれてしまったりするんだよ。」

「じゃ、山の土や砂が流れてくるから、土砂災害で言うんだね。きっと、「どーん。」とすごい力でおし流すんだね。かわいね。」

母の話を聞いて、わたしは土砂災害って、すごくこわいことだと感じました。そして、少しこわいけど、もっと聞いてみたくなりました。今度は、父に聞いてみると、

「今年も、川の上の方で大雨がふり水がふえて、下の川で遊んでいた人が流されてしまったというニュースがあったんだよ。これも土砂災害かな。川の上の方では、きっと、土砂くずれがあったと思うよ。大雨がふったら、がけの近くにいない方がいいね。自分の命をまず守らないといけないよ。」

と、わたしのことを心配してくれました。父の話を聞いて、どんなときでも命を守る大切さを忘れてはいけないと思いました。三

番目におじいちゃんに聞いてみると、  
「むかし、こも集中ごう雨にあって、もうちょっとで橋が流されそうになり、土地の低い方の家は水びたしになったときがあったんだよ。美樹の家は高い方に建っていたので、おかげで水びたしや土まみれにならなかったんだよ。とってもこわかったなあ。」と話をしてくれました。わたしは土砂災害は遠くの方のことかと思っていたのですが、この地いきも自然災害にあったことを聞いてちょっときんちょうしてしまいました。

そんなわたしをおばあちゃんが見て、  
「土砂災害の力はとても大きくてこわいよ。美樹、きけんだなど思うところには、あぶないからいつも近よらないようにせにゃだめだよ。」とわらいながら言ってくれたので、ほっとしました。

最後に、お兄ちゃんに聞くことにしました。わたしとお兄ちゃんとは、二つちがいです。このごろおたがいにゆずらないので、よく言い合いになったり、けんかになったりしています。お兄ちゃんは電車のことをよく知っています。土砂災害のわたしの質問も、やっぱり電車が土砂崩れで脱線し、交通止めになって多くの人が困った話をしてくれました。命をなくした人もいたそうです。

わたしはこの夏に、初めて土砂災害について関心をもち、家族に聞き、調べることができました。まとめ終わったとき、心の中で、「ちょー気持ちいい。」と思いました。土砂災害の意味やこわさ、命を守る大切さなど、わかったことをまとめている内に土砂災害が起きないようにするにはどうしたらいいのだろう。という次の疑問が生まれてきました。

「自然災害は、自分たちの住むかんきょうを大切にしないから起こる。」と聞きました。次は「土砂災害が起きないように、どうかんきょうを守ったらよいか。できることはどんなことか。」を自分の力で調べてみたいと思います。

●国土交通省砂防部長賞



磐田市立福田中学校3年  
寺田雅俊さん



浜松市立気賀小学校5年  
手塚博貴さん

●国土交通省砂防部長賞



浜松市立気賀小学校5年  
彦坂聖流さん

作文の部

●国土交通省砂防部長賞

『土砂災害から身を守るために』 静岡市立玉川中学校3年 和田亜希穂さん

「ブルルル。」  
昨年夏。朝早く、電話のベルが家中に鳴り響きました。その電話は父がとりました。  
父は少し話をして、すぐに身仕度を始めました。どうしたんだろうと思い、父と母が話していることを聞いていました。電話の内容は、「昨日の雨で学校のすぐ近くで土砂崩れがおきた。道も通れなくなってしまっている。」ということでした。父は、復旧工事に行くために身仕度をしていたのです。  
数年前にも同じようなことがありました。大雨が続き私の家につながる道が土砂崩れで通れなくなってしまったのです。崩れたのはほとんど石でしたから、がけ崩れと言った方が近かったかもしれません。その時は。業者の人に依頼をし、復旧工事をしてもらいました。父は、ダンプカーの運転もできますし、他の重機械の運転免許も持っています。だからその復旧工事も手伝っていました。  
私はまだ小さかったので、様子をはっきりとは覚えていませんが、その工事を見ながら「大変そうだな。」とか「もう土砂がなくなっている。すごいな。」と思いながら父が工事をしているところを見ていました。復旧工事は二日間くらいで終わり、道も元通りになりました。しかし、完全に崩れてこなくなったというわけではありません。今でも少し大きめの石が落ちていることがあります。  
この夏の土砂崩れで父が学校近くの土砂を片付けに行った次の日、私は学校に行きました。土砂の崩れた場所をみると…。山肌を滑り落ちた土砂は学校のフェンスを倒していました。道路をふさぐだけでなく、校庭にまで土砂が入っていました。それは、とてもひどいものでした。道路の方は、通れなくなると地域の人達が困るので前の日に大体片付けられたようでした。土砂の片付けのため、校庭をダンプカーが通ったらしく、運動場はタイヤの跡が残りがちやぐちゃになってしまっていました。「道が通れなくなりました。」と聞いた時は、少しの土砂だと思っていましたから、こんなにひどかったのだと知りとても驚きました。工事をしている時は雨が降った直後で、まだ地面が乾わいていま

せんでしたから土砂崩れが起こるかもしれないという中で工事をしていたのです。そう考えたら、また恐くなりました。  
なぜ土砂崩れがひんぱんに起きるようになったのでしょうか。どうすれば防げるのでしょうか。土砂崩れがこの頃ひんぱんに起こる理由をニュースで聞いたことがあります。一つは森林伐採です。木の根が土を支えてくれるから土が崩れないですんでいます。でも、それらを伐採することで土は支えを失い崩れやすくなってしまおうということです。もう一つは地球温暖化です。温暖化が進み気候が乱れ、雨がたくさん降ることです。土が崩れやすくなり土砂崩れが起きてしまうこともあるそうです。  
そして、そうした災害から生活を守るためにはこれ以上大変なことにならないように行動しなければならないと思います。木を植えることも大事です。植林することで土を支えられるし、空気をきれいにすることもできます。あとは、物を大切に使用したり、リサイクルをしたりして地球温暖化を少しでもくい止めることです。自分の身の周りのちょっとしたことに気づき行動することがたくさん集まれば、大きな力になると思います。  
また、県や市では、私達に被害が出ないように動いてくれています。土砂流出を防ぐための砂防ダムを作ったり崩れるのを防ぐため山肌にコンクリートでできた網のようなものをはったりしています。「土砂崩れするような場所は、近くにはない」と思う人もいるかもしれません。しかし、そうではありません。実際に山間地で土砂崩れが起きれば川の水が流れなくなって水不足になるかもしれません。もしかしたら濁流が押し寄せるともかもしれません。土砂災害は他人事ではなく、生活にとっても近いものだと思います。そうした被害を出さないように一生懸命動いてくれています。  
しかし、災害はいつ起こるのか全くわかりません。その被害を少なくするために自分の身の周りに危ない場所がないか、またその被害にあって困ってしまった場合どうするかということを考えて生活していかなければならないと思います。そうすることで自分自身で自分の身を守ることができるのだと思います。

## ポスターの部、絵画の部（静岡県関係）

### ●静岡県知事賞



富士市立元吉原中学校2年  
望月花菜さん

### ●静岡県建設部長賞



富士市立岩松中学校3年  
山本 茜さん



## 作文の部

### ●全国治水砂防協会静岡県支部長賞 『自然の力』 静岡市立長田西中学校1年 鈴木彩花さん

何年か前、私の家の窓から見える小さな山が地すべりを起こしました。

それは前日の大雨のせいでした。雨の音がうるさくて、夜、なかなか眠れないほどでした。でも、雨のせいで今まで目にしてきた山が姿をかえてしまうなんて思ってもいませんでした。

翌朝、ふと窓の向こうを見たら、昨日まですべて緑色だった山が一部茶色になっていました。山肌が露出していたのです。私は、すごくびっくりしてしまいました。当時はまだ小学校低学年で、「地すべり」という言葉はもちろん、山がくずれて形を変えてしまうことがあるということさえ知りませんでした。だから、自分の目に見えているものをどう説明したらいいのかわからなかったので、

「わあ、何あれ、見て！茶色い！」

と、指をさして必死で両親に伝えようとしてしました。両親の目の高さだと、ちょうど見づらい位置だったようで、背の低い私だけが興奮していたのを覚えています。

ようやく、初めて腰をかがめて見た母が、

「ああ、地すべりだね。」

と言い、そこで初めて私は「地すべり」というものを知りました。

昨日まで目になじんでいた山が、突然、その部分だけ山肌がけずれ茶色くなり、木々が全くないという状態になってしまって、本当に驚くばかりでした。その姿から、しばらく目が離せませんでした。大雨が降っただけで山があんな風になってしまうんだ、自然の力ってすごいだなあと感心してしまいました。

山と民家の間には丸子川があるので、山がくずれてあふれた土砂は全部川の中に入り、民家に被害はありませんでしたが、その日、登校したら、芹ヶ谷に住んでいる友達が、「学校に来る時、丸子川が荒れていて大変だったよ。」と話していました。

私は、夜だから眠っていたというのもあって気づきませんでした。山に近いところに住んでいる人の中には、大きな音にびっくりした人もいたかもしれません。川をはさ

んで山の正面に住んでいた人は、きっと怖い思いをしたと思います。

テレビのニュースで土砂くずれの被害を良く見ますが、あんなふうにならなくて本当に良かったと思います。

くずれてしまった山ですが、あれから何年も経ち、今ではすっかり元の姿に戻っています。地面は今もけずれてその部分だけへこんだままですが、そこに木が生え、茶色かった山肌が緑に覆われています。私は、あの時は緑なんて少しも見えない真っ茶色だったのに、だんだん草が生えてきて、今ではどこがくずれたのか一瞬探してしまうほどに復元されたのだから、自然の力はやっぱりすごいなあ、と再び感心させられてしまいました。

あの木々が根をはり、山を守っていくように、私達も土砂災害を防いでいかなければなりません。

父の運転する車で山の中を走る時、道路に面した山の斜面をコンクリートで固めてある所があります。それには、くずれにくい丈夫な山にするという意味があるのですが、私達の身近にある小さな山ではそうすることはできません。

インターネットなど使って調べたのですが、最近では下草が消滅した森林が増え、その結果土砂災害がくり返されているのだそうです。これまで、森林の多くは林業によって守られてきましたが、その林業が低迷し、森林の手入れが行き届かなくなってしまったのが、荒廃の原因だとも書かれていました。時々、林業や漁業などを営む人が減っている話は、テレビのニュースで聞くことがありますが、そういった社会問題も土砂災害にかかわっていることがわかり、私は、ただ山をコンクリートで固めることだけが対策ではないのだと気がつきました。山を守ってくれる森を育てるために、身近な山がいつもそこに、そのままの姿であるのが当たり前だと思わず、時には山に入って状態を調べたり、木々の整備や管理するべきだと思いました。私の家の前の山は、どんな管理がされているか、私にはわかりませんが、小さい頃どんぐりを拾いに入った思い出深い山が、いつまでも緑にあふれているよう願っています。

# 直轄事業の紹介

今回は、安倍川の直轄砂防事業の紹介をします。

安倍川（本川）の砂防工事は、大正3年(1914)8月29～30日の台風による静岡市街の大災害が契機となり、大正5年(1916)静岡市葵区梅ヶ島の赤水地先で、県が補助砂防事業により工事に着手し、昭和10年(1935)に砂防えん堤1基を完成させたことに始まります。なお、安倍川流域全体では、明治35年(1902)に県内初となる砂防事業が、安倍川支川安倍中河内川の上流、旧安倍郡玉川村奥仙俣で開始しております。

しかし、昭和9年(1934)北陸地方を襲った豪雨により石川県の取手川沿岸で大災害が発生したことより、流域や河川の状況が酷似している安倍川でも砂防工事を施さなければ大災害が発生する危険性が高いとして、昭和12年(1937)内務省横浜土木出張所大河内川砂防工場が設置され、直轄砂防工事が開始されました。その後、幾たびかの組織改変を経て、現在、国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所が工事を実施しています。

直轄砂防区域は、静岡市葵区湯島にある玉機橋より上流の安倍川本川流域です。

安倍川上流域の地質は、糸魚川－静岡構造線と笹山構造線にはさまれているため、破碎帯も多く、脆弱な地層と段丘礫層から構成されています。また、地形も急峻なため、荒廃が著しく、特に最上流部には日本三大崩の一つといわれる「大谷崩」があります。大谷崩は、宝永4年(1707)の宝永地震から崩れ始め、すでに300年を経過しています。

このため、安倍川砂防事業は、安倍川上流部における土砂生産の抑制、流出土砂の調整を行い、河状の安定及び洪水時の河川災害の防止を図ることを目的としています。

## 【大谷崩山腹工】



S61山腹工全景



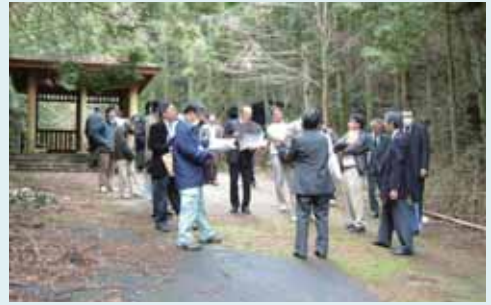
H14山腹工全景

## 三重県砂防協会が静岡県の砂防事業を視察

2月26・27日、三重県砂防協会の会長をはじめ、市町村職員など22名が、来静されました。

初日は、木和田川（藤枝市）で登録有形文化財の砂防えん堤や砂防学習ゾーンモデル事業、維持管理の協働（砂防サポートプログラム）、宇津ノ谷峠（静岡市・岡部町）を貫く4本のトンネル（明治・大正・昭和・平成）、つたの細道などを視察されました。

2日目は、富士砂防事務所の大沢川扇状地の直轄砂防事業などを視察されました。



島田土木事務所から説明を受ける三重県砂防協会のみなさん

## 全国治水砂防協会各支部事務局員会議が開催される



大久保理事長の挨拶

3月11日、全国治水砂防協会各支部事務局員会議が、砂防会館で開催され、当支部からも参加しました。

はじめに大久保理事長より、各支部の活動へのお礼と、救農土木事業をすることで砂防事業にもつながり、結果雇用対策にもなると、現在の雇用問題に関連づけたお話がありました。

続いて、岡本理事より平成20年度の事業報告、運営事項についての説明がありました。また、国土交通省砂防部の西山砂防計画調整官から「最近の砂防事業の話題」と題し、講演がありました。事務局員にとって、全国の砂防関係のお話を聞ける貴重な機会を得ました。

## 富士山火山砂防計画検討委員会が開催される

3月10日、「平成20年度第2回富士山火山砂防計画検討委員会」が、富士宮市クリスタルホールパテオンで開催されました。

本委員会では、火山噴火に伴う土砂災害を軽減するための『富士山火山砂防計画』を策定しており、平成16年度に設置されて以来、今回で通算第8回となります。委員会では、池谷浩委員長による挨拶の後、『富士山火山砂防計画の策定方針（案）』についての議論が行われました。



池谷浩委員長挨拶

## 砂防及び地すべり講習会が開催される



下川氏による特別講演「土砂災害発生源の予知をめざして」

3月12・13日、「第49回砂防および地すべり防止講習会」が、砂防会館で開催されました。

講習会に先立ち行われた赤木賞授与式では、下川悦郎鹿児島大学教授をはじめ、功績のあった方々に各賞が授与され、「土砂災害発生源の予知をめざして」と題して下川氏により特別講演が行われました。講習会では、中野砂防部長の「砂防が目指すもの」をはじめ、宮城県栗原市長の「災害を経験して－岩手・宮城内陸地震による被害と栗原市の対応－」など、砂防全般に及ぶ幅広い分野の講演があり、今後の砂防事業の展開に関する話題提供がありました。

## 静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会が開催される

2月3日、静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会が、静岡市内で開催されました。

総会では、大池会長、武田副会長のもと、大内地区グリーンベルト作業会（春の県民森づくり大作戦）や、土砂災害に対する全国統一防災訓練、急傾斜地崩壊危険区域の安全点検パトロールなど砂防事業に関連した行事への参加など、平成21年度活動計画が決定されました。総会后、加納砂防室長が、「最近の砂防を取り巻く状況について」と題して研修を行いました。



大池会長の挨拶

## 富士市地域防災指導者養成講座で土砂災害対策を説明

3月6日、富士市地域防災指導者養成講座のカリキュラムの一環で、砂防室職員が土砂災害対策について説明を行いました。

この講座は、富士市、静岡県東部防災局、富士常葉大学が主催し、12月12日～3月13日の原則金曜日の19:00～20:00に、自主防災組織、消防団、水防団、事業所等の防災担当者などを対象に開催したものです。東海地震の被害、富士山火山噴火など全部で11講座あり、各回、富士常葉大学や防災機関の専門家が講師となって、最新の情報や系統だった知識を提供し、地域防災指導者を養成するものです。

## 由比地すべり対策検討委員会が開催される

2月25日、第6回由比地すべり対策技術検討委員会が静岡市内で開催されました。

この委員会は、由比地すべり機構とその対策の基本方針について検討するもので、平成16年度から開催され、今回で6回目となります。

委員会では、地すべり動態観測結果や地すべり機構解析、安定解析、地震解析の解析結果が報告され、平成21年度以降の実施結果及び調査結果が承認されたほか、新たに危機管理体制について活発な意見交換がされました。

## 富士山火山防災対策シンポジウムが開催される

2月1日、災害対策山静神連絡会議「富士山火山防災シンポジウム」が、神奈川県立小田原高等学校で開催されました。

はじめに、静岡大学の小山教授より「富士山の噴火史と火山防災対策」について、（財）砂防フロンティアの井上参与より「富士山宝永噴火と土砂災害」と題した講演があり、会場の参加者は、貞観噴火（864年）や宝永噴火（1707年）の噴火活動や噴火時の被害等の理解を深めました。

また、パネルディスカッション「富士山噴火への必要な備え」では、火山防災対策について理解を深めると共に、改めてハザードマップの重要性を再認識しました。



# 募 集 コ ー ナ ー

## 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・ポスター・作文を募集します。募集要領については、各小中学校へ送付してありますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小中学生                      【応募期間】 6月1日～9月15日  
 【応募方法】 作品には応募者の学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）、を明記して下さい。  
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
 静岡県建設部砂防室 土砂災害対策スタッフ  
 TEL054-221-3042 FAX054-221-3564

詳細は、砂防室ホームページからもご覧いただけます。  
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



## 土木事務所企画係砂防担当者の紹介

県砂防室では、出前講座及び講習会を随時受付しております。

事務所	企画TEL	FAX	担当者	事務所	企画TEL	FAX	担当者
下 田	(0558) 24-2113	(0558) 24-2112	増田	静 岡	(054) 286-9321	(054) 286-9375	大嶽、杉山
熱 海	(0557) 82-9171	(0557) 82-9110	羽田	島 田	(0547) 37-5272	(0547) 37-6183	佐藤
沼 津	(055) 920-2211	(055) 922-6684	漆畑、花岡	袋 井	(0538) 42-3216	(0538) 42-1782	田中
富 士	(0545) 65-2794	(0545) 65-2270	佐野	浜 松	(053) 458-7266	(053) 458-7193	油井



2009年 6月4日 **開港**



©静岡県



【表紙写真】  
**春の彩**〈富士市岩本山〉  
 青木 忠平さん（焼津市）

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記まで問合せ下さい。

## 編・集・後・記

平成21年度がスタートし、砂防室では4名が異動となりました。会員数・会費も減少しておりますが、砂防事業の発展と、会員の皆様のお役に立つ活動を積極的に取り組んで参りたいと思っております。  
 今後とも砂防だよりのご愛読をよろしく願っています。

砂防室ホームページのアドレスに移転しました。お手数ですが、ブックマークの変更をお願いします。  
 砂防室新HP：<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第165号 発行日：平成21年4月15日  
 編集・発行：全国治水砂防協会 静岡県支部  
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県建設部河川砂防局砂防室内  
 TEL (054) 221-3042 FAX (054) 221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp